

Q. (基礎問題精講 2B 演習 155(3))

解説の補助をお願いします。

[回答者の頭の中]

A が 0 を中心に半径 12 の演習上を動くときベクトル  $\vec{a}$  が示す図は円となる。

また、 $\vec{b} + \vec{a}$  だとするとこれが示す図は下のようになる。

ベクトルは向きを表しているので、実際に図形的に想像してみるのが大切である。

[解説]

A の半径が 12 であるということは  $|\vec{a}|=12$  であることを表している。(1) で  $\vec{c} = \frac{1}{6}\vec{a} + \frac{1}{3}\vec{b}$  となることより、 $\frac{1}{3}\vec{b}$  を中心に円を描くことが想像出来る。ここで  $\frac{1}{6}\vec{a}$  は  $12 \times \frac{1}{6} = 2$  の半径 2cm の円であることを注意する。

